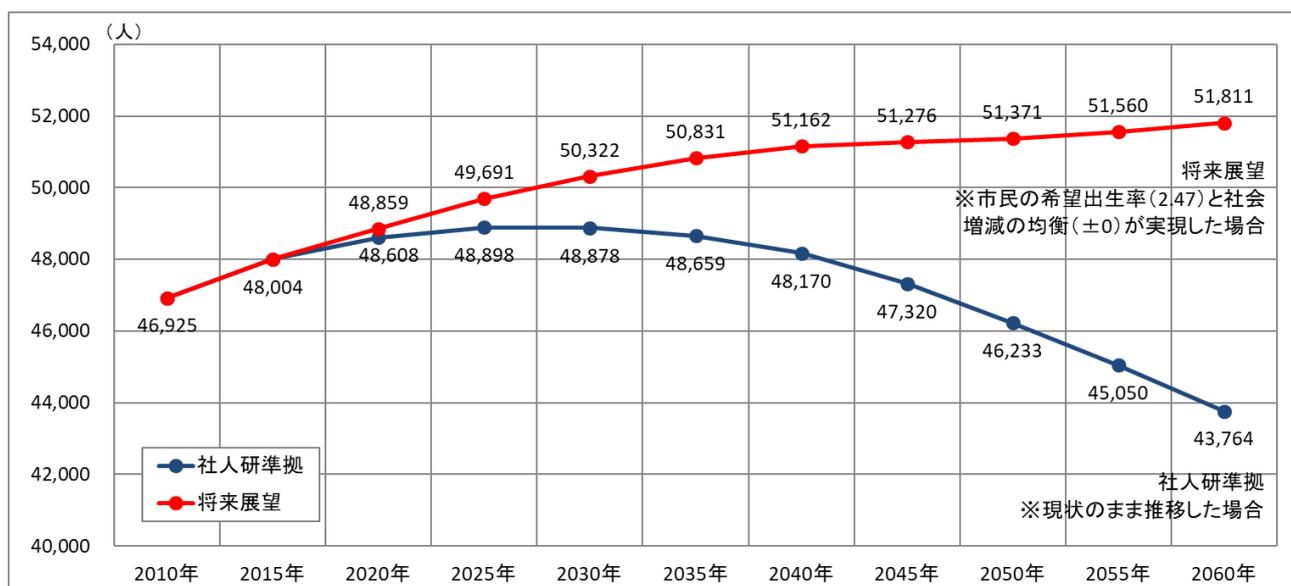


第 2 期石垣市人口ビジョン検討資料 人口の将来展望について

(1) 第 1 期計画

取り組むべき方向性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の希望出生率 (2.47) の実現 社会増減が 0 以上
将来展望	<p>取り組むべき方向性の効果が発揮された場合 2060 年人口：51,811 人 ※社人研推計 43,736 人</p> <p><算出条件></p> <ul style="list-style-type: none"> 2010 年までは実績値 ■合計特殊出生率 <ul style="list-style-type: none"> 2015 年は社人研推計値 (2.17) 2020 年は 2015 年推計値と目標出生率の平均 (2.32) 2025 年以降は目標出生率 (2.47) ■社会増減 <ul style="list-style-type: none"> 2015 年 2020 年までは社人研推計値 2025 年以降は目標値 (±0) ※男女別年齢別全てにおいて±0

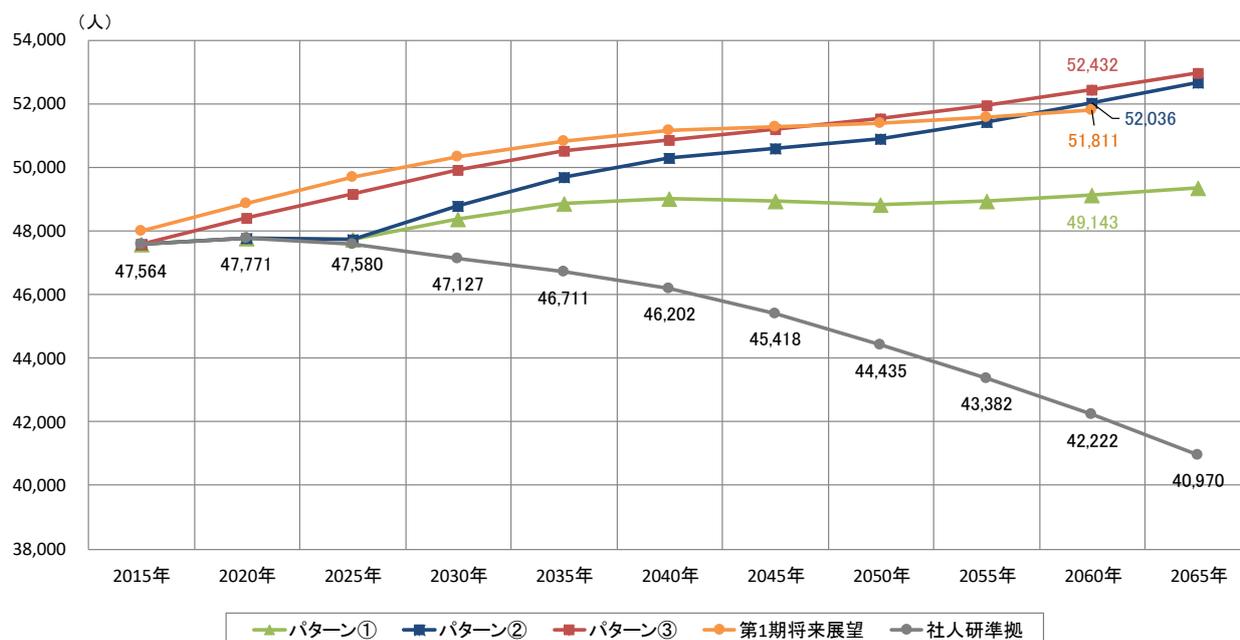


(2) 第2期計画

以下、3パターンの将来展望を推計しています。

パターン	考え方	算出条件	将来展望 (2060年人口)	第1期時との差
社人研推計 (H30.3)	—	—	総人口 42,222 生産年齢人口 21,714 (51%)	総人口 -9,589 生産年齢人口 -6,538
第1期計画 (H28.3)	取り組むべき方向性の実現 ・市民の希望出生率(2.47)の実現 ・社会増減が0人以上/年	P1のとおり	総人口 51,811 生産年齢人口 28,252 (55%)	—
パターン①	第1期と同じ取り組むべき方向性を踏襲 ・市民の希望出生率(2.47)の実現 ・社会増減が0人以上/年	P1のとおり ※1	総人口 49,143 生産年齢人口 25,363 (52%)	総人口 -2,668 生産年齢人口 -2,889
パターン②	第1期と同等の将来展望人口を確保する ・市民の希望出生率(2.47)の実現 ・社会増減が+400人以上/年	P1のとおり ※1	総人口 52,036 生産年齢人口 26,877 (52%)	総人口 +225 生産年齢人口 -1,375
パターン③	第1期と同じ取り組むべき方向性を踏襲 ・市民の希望出生率(2.47)の実現 ・社会増減が+0人以上/年 ※条件については、実態を踏まえ一部変更	社会増減に関する条件を変更 ※2	総人口 52,432 生産年齢人口 28,980 (55%)	総人口 +621 生産年齢人口 +728

図 人口の将来展望



※1…今回の算出条件

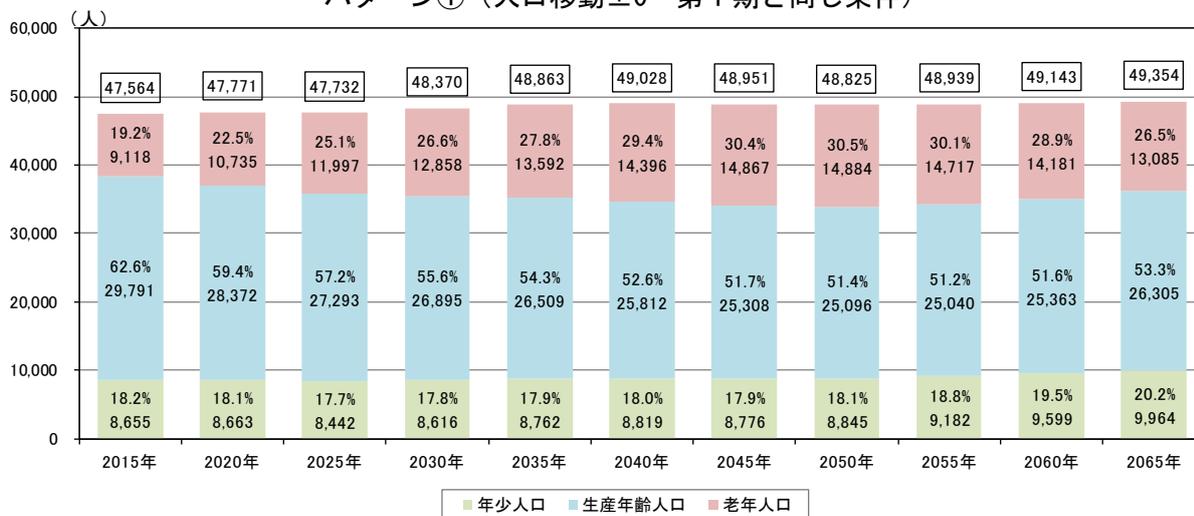
<p><算出条件> ※第1期と同じ条件を適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の2015年までは実績値 →第1期将来展望を下回る（第1期時は推計値） <p>■合計特殊出生率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年は社人研推計値（2.26） →第1期将来展望を下回る ・2025年は2020年推計値と目標出生率の平均（2.36） →第1期将来展望を下回る ・2030年以降は目標出生率（2.47） <p>■社会増減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年・2025年は社人研推計値（-553、-664） →第1期将来展望を下回る ・（パターン①）2030年以降は目標値（±0） ※男女別年齢別全てにおいて±0 ・（パターン②）2030年以降は目標値（+400） ※男女別年齢別に按分

※2…パターン③の算出条件

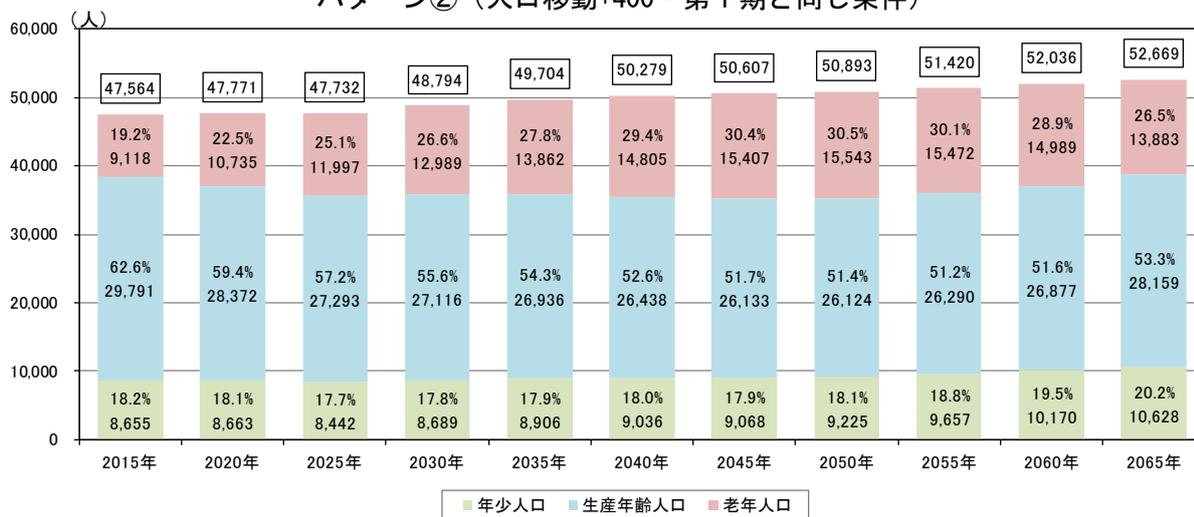
<p><算出条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の2015年までは実績値 →第1期将来展望を下回る（第1期時は推計値） <p>■合計特殊出生率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記と同じ <p>■社会増減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年2025年は近年の実績値を踏まえ、±0 →社人研推計値（国勢調査をベース）と近年の実績（住民基本台帳ベース）で大きな差が生じているため、近年の実績を踏まえ、2020年2025年の社会増減を±0で算出する ・2030年以降は目標値（±0） ※男女別年齢別全てにおいて±0 <p>（参考）</p> <p>①人口の増減の推計値 資料：社人研推計値（国調ベース）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020</th> <th>2025</th> <th>2030</th> <th>2035</th> <th>2040</th> <th>2045</th> <th>2050</th> <th>2055</th> <th>2060</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然増減数</td> <td>+760</td> <td>+473</td> <td>+282</td> <td>+114</td> <td>-194</td> <td>-451</td> <td>-605</td> <td>-659</td> <td>-766</td> </tr> <tr> <td>社会増減数</td> <td>-553</td> <td>-664</td> <td>-735</td> <td>-530</td> <td>-314</td> <td>-334</td> <td>-378</td> <td>-394</td> <td>-394</td> </tr> </tbody> </table> <p>②人口の増減の実績値 資料：沖縄県移動報告（住基ベース）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>5年間計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会増減数</td> <td>+160</td> <td>-189</td> <td>-35</td> <td>+66</td> <td>+123</td> <td>+125</td> </tr> </tbody> </table>		2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	自然増減数	+760	+473	+282	+114	-194	-451	-605	-659	-766	社会増減数	-553	-664	-735	-530	-314	-334	-378	-394	-394		2015	2016	2017	2018	2019	5年間計	社会増減数	+160	-189	-35	+66	+123	+125
	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060																																			
自然増減数	+760	+473	+282	+114	-194	-451	-605	-659	-766																																			
社会増減数	-553	-664	-735	-530	-314	-334	-378	-394	-394																																			
	2015	2016	2017	2018	2019	5年間計																																						
社会増減数	+160	-189	-35	+66	+123	+125																																						

(2) 年齢3区分別人口の推計

パターン① (人口移動±0・第1期と同じ条件)



パターン② (人口移動+400・第1期と同じ条件)



パターン③ (人口移動±0・社会増減が2020年から±0)

